

長野県革新懇ニュース

2017年8月号
発行日 8月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 0510-3-15971

218

発行 日本と信州の明日をひらく 県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

==== 今号の主な記事 =====

- 1面 山田火砂子さんインタビュー
- 2面 1面続き、近現代信州の歴史回廊
- 3面 松川村で講演と歌の夕べ、福島は今
- 4面 随筆「一本の鉛筆」堀井正子さん
映画評論「明日へ」-日本の青空IV
読者のこえ、クロスワードパズル

長野県革新懇

検索



1932年東京生まれ。戦後、女性バンド「ウエスタン・ローズ」で活躍後、舞台女優を経て、映画プロデューサーに。その後、映画監督としても多くの作品を手掛ける。2010年 日本映画テレビプロデューサー協会功労賞受賞。同年 第55回映画の日執行委員会表彰。2011年児童福祉文化賞、特別部門賞受賞。

若い人たちに「母」を ぜひ観てもらいたい

や ま だ ひ さ こ さん
山田 火砂子 さん
(映画監督)

映画化のきっかけは
多喜二のファンだから

Q 先ほど、「母」を観て、大いに感動したところですが、この作品をつくられた動機について初めにお聞かせください。

私の初期の映画は福祉とか障害をテーマにしたものです。私の子どもは重度の知的障害を持って生まれ、酷い扱いをされ、あからさまな差別を受けました。戦後になってダウン症の子が増えたと思っ

ていましたが、ある時戦前に看護婦長をしていた人から、ダウン症の子が生まれると母親には死産と報告し、父親にこれからこの子を育てていくのは大変苦労するでしようと言っ

てもそこでさせていたという現実がありました。戦前は、障害のある子は人間扱いされませんでした。だから、皆が共生できる社会を築きたいと願い、関係する映画を制作してきました。はだしのゲンをはじめ原爆映画も4本とりました。だから映画の出発点は社会的弱者に目を向けることでした。しかし、日本がどんどんおかしくな

って行く中で、2度と同じ過ちを許してはいけないという思いが募り、「望郷の鐘」からテーマを広げることにしたわけ

です。「母」制作のきっかけは、私が小林多喜二のファンだからです。若いときに橋爪健という人が書いた「多喜二虐殺」という本を読んだんですが、本

当にこんな酷い特高がいるのかと、頭に血がのぼって、この人を捜してぶん殴りにいこうと思っ

たくらいです。その特高の息子が下町で生きてるんですけど、反対に威張っていますよ。多喜二を殺して、立派なことをやってたって得意になっ

ています。多喜二が拷問を受けるシーンは映しませんでした。自分だっ

てあんなものを見たくないですよ。そんなものを見せたらと言っ

て、反戦主義になるかというとならないですよ。若い人にわかってもらいた

いと思って必死につくりました。東京で100人ぐらいのホールで年中上映するよう

にしています。そうしたら夜

なにかはすっかり若者になっ

たし、中学生くらいの子をつ

れた母親が「この映画ならこ

の子にもわかると思います」

と言っ

て娘や息子にも来るように話

しますとの感想もあります。私は最初からそれを狙ったのです。とにかく「母」を観て、若い人たちに1票1票を大事に

してもらいたいと思っ

ています。その寂聴さんが言っ

ているのだから本

当に日本は危ない国になっ

てきました。だから、その意味でも若い皆さんに「母」

を観てほしいんです。

戦争が終わってからも

酷い生活が続いた

監督自身が戦中・戦後に大

変な体験をされておられると

思います、その経験談をお

話し

下さい。

私の知っ

ている時代は、中国人を「チャンコロ」とか馬鹿にして、南京陥落とか言っ

て、陥落するたびに提灯もつ

てこいなどと叫び、大人、特に男の人が戦争だ、戦争だと騒いで

いました。何だかわからないけど、やつつけてやらなければダメだ、ドイツは偉いとか、盛んにわめいて

いるのを聞いていました。10歳ぐらい

だから覚えていますよ。ところが戦争に負けると、今度は政府が悪いんだと思

いました。酷い大人たちだと思

いましたね。考えられないです

ね。江戸時代そのままで、お上の言うことは間違いないと

いう、自分の思想なんてまっ

たくなくて、風に流されてい

るような生き方をして情けな

いと思

いましたね。

戦後アルバイトで、「ウエスタン・ローズ」というバン

ドでギターを弾いて、米軍

キャンプ等で演奏していま

した。このときの出演料が高額

【2面に続く】